

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年01月31日

計画の名称	津波対策まちづくり計画（防災・安全）												
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	伊豆市												
計画の目標	静岡県第4次地震被害想定により市が想定していた津波高や津波到達時間が変更となり、沿岸部においては避難に要する時間短縮を目的とした津波避難施設を整備し、住民等の生命を守り、安全・安心なまちづくりを実現する。 また、伊豆市中心部においては地震、洪水等緊急時の避難場所が整備されていないため、防災機能を備えた公園を整備し、指定緊急避難場所とする。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,687	A	1,687	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H31当初)	中間目標値 (R3末)	最終目標値 (R5末)
1	津波に対する避難可能時間内に住民及び主要観光施設利用者が最寄りの津波避難施設や津波浸水想定区域外に避難できる割合を100%とする。 津波到達時間までに津波避難施設や津波浸水想定区域外に避難できる割合（土肥地区津波浸水地区） 土肥地区津波浸水地区（津波到達時間までに避難できる割合 = 津波到達時間までに避難できる津波浸水地区内人口及び観光施設等利用者 / 津波浸水地区内人口及び観光施設等利用者）	90%	90%	100%
2	市中心部（旧修善寺町）の住民の緊急避難場所のカバー率を35%にする。 市中心部（旧修善寺町）の住民が緊急避難できる割合 市中心部（旧修善寺町）の緊急避難場所カバー率 = 緊急避難場所から2km圏内の人口 × 整備進捗率 / 市中心部（旧修善寺町）の人口（R3.3現在14,038人）	0%	0%	35%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	伊豆市	直接	伊豆市	-	-	地区公共施設等整備(日向公園)	防災公園整備	伊豆市						800	-	
	A13-002	都市防災	一般	伊豆市	直接	伊豆市	-	-	地区公共施設等整備(土肥地区)	津波避難施設1基	伊豆市						887	-	
											小計						1,687		
												合計						1,687	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31	R02	R03		
配分額 (a)	6,000	42,600	0		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	6,000	42,600	0		
前年度からの繰越額 (d)	0	6,000	37,540		
支払済額 (e)	0	11,060	37,540		
翌年度繰越額 (f)	6,000	37,540	0		
うち未契約繰越額(g)	0	37,540	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	77.24	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		保安林との調整が難航したため			